

平成17年3月8日
シロキ工業株式会社
(輸送用機器 東証・名証第1部上場)

シロキ工業の中国生産拠点
広州白木汽車零部件有限公司(中国)で竣工式
4月より本格操業開始

シロキ工業株式会社(本社:愛知県豊川市 社長:木場軍司)では、3月8日、午前10時(現地時間)より、中国現地生産子会社の「広州白木汽車零部件有限公司」(本社:広州市広州経済技術開発区永和区、総経理:吉田博光)の本社工場の竣工式を行った。式には、中国政府関係者のほか、現地の取引先、工事関係者など約130名が出席した。

広州白木汽車零部件では、4月より日産自動車(株)の現地合弁会社「東風汽車有限公司」向けに、ドアサッシとモールディングを生産・納入を開始する。またこれに加えて06年半ばからは、トヨタ自動車(株)の現地合弁会社「広州トヨタ自動車有限会社」向けに、ドアサッシやウインドレギュレータ、モールディングなどの生産・納入を開始する予定。操業開始初年度の05年の売上は4億5千万円、06年は30億円を見込む。

広州白木汽車零部件は、一昨年10月シロキ工業100%出資の生産子会社として設立され、昨年2月に建設工事を着工、同10月には建物が完成し、本年4月操業に向けて生産準備を行っていた。また本年1月には、同社の立ち上げから関わり、中国における事業活動のノウハウを提供してきた商社の株式会社メタルワン(本社:東京、金田守司社長)が資本参加(5%)をし、これにより中国事業の一層の強化をはかる。広州白木汽車零部件では、今後も広州地区での受注拡大が見込まれることから、年内に敷地内にプレス棟を増設(約1,500平米)するほか、受注動向を見て06年には第2工場建設にも着手する予定。

現在シロキ工業の海外生産子会社は、広州白木汽車零部件のほか、北米に2社、ベトナム、タイ、にそれぞれ1社がある。このほか、2001年にドイツのブローゼ社とドアシステム、シートシステムの共同開発

とウインドレギュレータの生産の相互補完をはかる包括的協業契約を結び、2002年には合併でシロキ・ブローゼ（本社 豊橋市）を設立するなど、世界の自動車メーカーのニーズに対応すべく、グローバル戦略を積極的に進めている。* 海外売上高比率は20%（230億円 平成16年3月期連結）。

* 連結売上高に占める海外売上高の割合

以上

[会社の概要]

- 1、会社名 : 広州白木汽車零部件有限公司
(GUANGZHOU SHIROKI CORPORATION)
- 2、会社設立 : 2003年10月16日
- 3、所在地 : 広東省広州市広州経済技術開発区永和区
- 4、資本金 : 1,000万米ドル（約11億円）
シロキ工業株式会社（95%）
株式会社メタルワン（5%）
- 5、事業内容 : 自動車部品の製造・販売
- 6、生産品目 : ドアサッシ（自動車用窓枠）、
モールディング（自動車用外装部品）、
ウインドレギュレータ（自動車用窓昇降機）他
- 7、総経理（社長） : 吉田博光
- 8、従業員 : 110名
- 9、敷地面積 : 53,000平米
- 10、延床面積 : 8,400平米

以上

この件のお問い合わせ先

シロキ工業株式会社

0533(84)4691

総務部 広報担当 眞野 成人